

先日、地御前小学校を卒業した R 君の卒業文集をお母様に見せていただき、本当に感動しました。ぜひ皆様にも読んでいただきたいと思います、本人の許可を得てこちらに掲載いたします。

ピアノと僕

六年二組 R

僕には、ピアノのレッスンで、とても沢山の思い出があります。それは、ピアノの先生が、とても熱心に教えてくれた事から始まります。

小学生に入る前からピアノを習っていた僕ですが、初めのうちは上手に弾くことができませんでした。そんな時でも、僕のピアノに対する可能性を信じてくれて、どうしたら上手く弾けるかという技術面もしっかりと諦めずに教えてくださいました。僕も、先生の期待に応えるために、上手く弾けないときには泣きながら練習した事もあります。その後も、試行錯誤しながら練習してきました。その甲斐もあり、六年生の二期の時のコンクールで金賞を受賞することができました。そして、いつも楽しくレッスンをしてくれる先生に、いつしか憧れを抱き始めていた僕がいました。

「上手になったねえ。」と、先生がほめてくれたおかげで、ピアノの楽しさに気付くことができました。僕がここまで成長できたのは、先生の諦めない熱心な指導のおかげに違いありません。そんな先生の姿から、最後まで諦めない事の大切さを学びました。そして、ピアノの先生になるという夢を見つめることができました。

今、僕は先生に感謝の気持ちを送りたいです。そして、もっとピアノの練習を頑張り、僕の成長した姿を見せることで、先生に喜んでもらいたいです。将来は同じピアノの先生という職業に就くことで、恩返しをしたいと思っています。

☆ クロスワード答え ☆

お	ー	す	と	り	あ	■
か	が	み	■	ん	り	れ
り	■	だ	い	ご	ぼ	ん
な	か	が	わ	■	ぼ	し
■	い	わ	く	に	■	ゆ
り	さ	■	ら	い	こ	う
さ	っ	か	■	さ	い	■

答、読んでくれて ありがとう